

平成21年度 教育行政評価 No12 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	かしまスポーツカレッジ (社会体育振興事業)	担当	部名 課名	市民協働部 生涯学習課
------------------	------------------------	----	----------	----------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画 (後期) における位置づけ	
重点目標	4 スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(1) スポーツの振興
個別施策	① スポーツ団体の育成支援

2 事業概要

目的	市民一人一スポーツを目指した生涯スポーツの推進を進める中で、豊かな指導技術と運営能力を持つコーディネーターを養成するため、指導者養成講座「かしまスポーツカレッジ」を開設します。			
対象及び規模	対象	スポーツ愛好者・指導者	規模	スポーツ指導者認定13名 (延べ135名)

3 実績

	認定者が各スポーツクラブで指導者として積極的に指導にあたっており、また、地区のスポーツ行事にも指導的役割を担って参加をしています。平成20年度は11名、平成21年度は13名が受講し、認定者として積極的に指導にあっています。			
--	---	--	--	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	指導者の認定後の活用については、各まちづくりセンター等でのスポーツ事業の指導者として派遣する制度の検討が必要です。			
改善策	体育協会やスポーツクラブ、各まちづくりセンター・まちづくり委員会と協議を行い、スポーツコーディネーターが各団体やまちづくりセンターの事業に積極的に参加できる体制を検討します。			

平成21年度 教育行政評価 No13 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	スポーツ社会の実現に向けた育成支援事業 (社会体育振興事業)	担当	部名 課名	市民協働部 生涯学習課
------------------	-----------------------------------	----	----------	----------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画 (後期) における位置づけ	
重点目標	4 スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(1) スポーツの振興
個別施策	② 地域スポーツの展開と情報の発信

2 事業概要

目的	スポーツ振興の推進主体となる体育協会やかしまスポーツクラブ等、各種スポーツ団体との連携を図り、各団体が主体的に活動に取り組むことができるよう支援をします。さらに、地域における多様なスポーツ事業を充実させ、スポーツ実施機会の拡大を推進し、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目指します。			
対象及び規模	対象	市民	規模	各種大会7,033人、スポーツ教室1,654人

3 実績

	健康づくりスポーツ教室は、体育協会やスポーツクラブで実施するほか、体育指導員による各まちづくりセンターでの実施が増え充実しました。第17回鹿嶋サッカーフェスティバルは、「サッカーのまち 鹿嶋」の浸透から各部門の参加希望チームが年々増え、定着してきました(全国から84チーム)。第19回ト伝杯武道大会は、剣道の部74チーム、柔道の部59チームの参加により、スポーツ・武道のまちとして年々充実が図られています。第35回鹿嶋市駅伝大会は、127チームの参加があり、これまでで最多のチーム数となりました。第16回鹿嶋市フットサル大会は、体育協会との連携のもと115チームが参加しました。また、他市に例を見ない24時間サッカー大会は、第4回目を迎え、サッカー愛好者、地域の各団体の参加協力のもと10部門で36試合、述べ約1,800名が参加しました。			
--	---	--	--	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	サッカーフェスティバルは、人気が高く強豪チームの試合の場として定着し、年々参加チームが増加しています。このため、本戦参加チームとは別に練習試合として参加団体の調整を行っているため、大会方法等、実行委員会での検討が必要となっています。また、スポーツ大会や教室等は増加していますが、成人の週1回以上のスポーツ実施率は、平成19年度段階で30%未満のため、目標の50%以上を達成する手法等の検討が必要です。			
改善策	市民が行う各種スポーツ実施状況の把握方法を検討します。さらに体育協会やスポーツクラブとタイアップしたウォーキングやステップ運動等、軽スポーツを取り入れた事業を展開し、地域におけるスポーツ実施機会の拡大を図り、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目指します。			

平成21年度 教育行政評価 No14 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	地区公民館まつり、市美術展覧会・芸術祭 ・市民ギャラリー企画展事業(公民館活動費)	担 当	部 名 課 名	市民協働部 まちづくり市民センター
------------------	--	--------	------------	----------------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ		
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(2)	芸術文化活動の振興と文化財の保護
個別施策	①	地域に根ざした文化芸術活動の創造

2 事業概要

目 的	地域の芸術文化団体等の支援・育成のために公民館まつりの開催等、団体等の発表の場を確保しながら、その振興に努めます。また、芸術文化活動の指導者の発掘等を進めます。 市民に芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、活動の成果を発表する機会として、市美術展覧会や芸術祭・市民ギャラリーを活用した企画展を開催し、さらなる芸術文化活動の発展と普及を図ります。			
対象及び規模	対象	市民	規模	65,911人

3 実 績

各公民館における、自主サークルの文化活動と発表の場を設けるとともに、市全体として市美術展覧会や芸術祭・文化フェスティバル等を開催し、文化芸術活動の普及を図りました。 出品目録等を手作りで印刷・製本するなど事業経費をあまりかけず、実行委員やボランティアの協力により開催しました。 各公民館利用者数は、H21年度 329,793人で前年に比べ28,091人増えました。	
--	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課 題	他の課でも類似した文化芸術等の事業が実施されているので、事業の統廃合が必要です。実行委員を含めた出品者の高齢化に伴い、運営形態・出品者が固定化する傾向にあります。
改 善 策	課をまたがる事業の統廃合を図ります。 創作・体験活動などを通して、芸術文化活動に興味・関心を持ってもらう機会をつくるとともに、人材育成、展示・発表の場の環境整備に取り組みます。

平成21年度 教育行政評価 No15 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	フォトコンテスト(文化事業)	担 当	部 名 課 名	市民協働部 生涯学習課
------------------	----------------	--------	------------	----------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ		
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(2)	芸術文化活動の振興と文化財の保護
個別施策	①	地域に根ざした文化芸術活動の創造

2 事業概要

目 的	文化・芸術に新しいスポーツ文化を加え、文化・芸術を身近に感じるまちづくりを推進するため、アマチュアスポーツ・運動に関連するフォトコンテストを開催し、スポーツ・芸術文化活動の振興を図ります。			
対象及び規模	対象	小学生以上の市民及び在勤・在学者	規模	約60,000人

3 実績及び評価

第23回国民文化祭・いばらき2008開催に伴い、鹿嶋市は、「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」の一環として、サッカーフォト(フットサルを含む)コンテストを開催しました。平成21年度からは国民文化祭の記念事業としてスポーツ全般を対象にした第1回スポーツフォトコンテストとして実施しました。さらに同時期にスポーツ講演会を開催し相乗効果が生まれ、多くの入場者がありました。 初めての開催でしたが、応募数39点:市内35点、市外4点と国民文化祭応募数を上回りました。	
---	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課 題	コンテストの情報提供の手法を検討し、次期応募者の拡大を図る必要があります。
改 善 策	次期応募者拡大のため、市内施設及び他の公共機関にポスターの掲示をするとともに、市ホームページや市報・FMかしまを活用し、また、各新聞社へも周知のための協力をお願いしていきます。

平成21年度 教育行政評価 No16 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	国・市指定遺跡の整備(神野向遺跡保存事業(補助))	担当	部名 課名	教育委員会 教育総務課
------------------	---------------------------	----	----------	----------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ				
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進		
体系項目	(2)	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
個別施策	(2)	文化財の保護と活用		

2 事業概要

目的	神野向遺跡は、古代鹿島郡家跡(鹿島郡役所跡)として、鹿島神宮境内等とともに昭和61年に国の史跡に指定された鹿嶋市の貴重な文化財です。こうした鹿嶋市の歴史を広く市内外にアピールするとともに、貴重な文化財を永く後世に残していくために整備を進めます。			
対象及び規模	対象	国指定史跡「神野向遺跡」	規模	73,607.01㎡(国指定面積)

3 実績

事業は、国指定地の公有化が主となっています。平成21年度に3,028㎡を購入し、平成21年度末の公有化は、指定面積の88.8%まで進んでいます。このため、史跡整備検討会で公有化後の「整備基本構想」の策定作業を並行して行っています。				
---	--	--	--	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	指定地は、地下の遺構を保存することが主目的ですが、地上部の利活用(管理)と史跡の有効な公開手法について検討が必要です。文化財の保存活用には、歴史や文化、文化財に関する専門知識を持つ職員の配置が必要ですが、専門知識を持つ職員が高年齢になり、若手職員の育成が急務となっています。			
改善策	公開の手法は、郡衙(古代の郡役所跡)として、地下遺構の現状保存を念頭に史跡の様子が分かるような工夫をしていきます。文化財担当職員の育成では、若手職員の育成、嘱託職員(文化財担当)を配置します。			

平成21年度 教育行政評価 No17 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	地区まちづくり委員会活動支援(公民館活動費)	担当	部名 課名	市民協働部 まちづくり市民センター
------------------	------------------------	----	----------	----------------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ				
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進		
体系項目	(3)	生涯学習の充実と市民交流の推進		
個別施策	(1)	学習と地域型コミュニティの形成		

2 事業概要

目的	市民協働のまちづくり活動を推進するため、各地区まちづくり委員会に公民館活動事業を委託し、市民主体の活動を推進するとともに、各地区まちづくり委員会とまちづくりセンターとで組織する、まちづくり連絡協議会活動を通じて情報交換や研修会等を開催し、人材を育成します。			
対象及び規模	対象	公民館主事・まちづくり委員会委員	規模	832人

3 実績

まちづくり研修会・まちづくり塾・主事委員研修会を効果的に行っています。まちづくり研修会は毎回100人前後の受講生を集め効果的な研修を行っています。まちづくり事業については、毎年地区の課題を取り入れて各種事業を計画し展開しています。 まちづくり研修会は、「NPOとの連携による協働のまちづくり」をテーマに7月5日に開催し80名の参加があり、まちづくり塾は、「地域性を生かすまちづくり事業計画の視点」ほかをテーマに8月1, 8, 22, 29日に開催し40名の参加がありました。				
--	--	--	--	--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	まちづくり事業については、単一年度の事業が主であり、中長期的計画の策定には至っていません。また、次世代を担う人材が育っていないため、まちづくり委員にかかる負担が増えています。			
改善策	共通の地域課題に対して、行政(関係する課)や事業所・市民が、一堂に会して研修できる場を設定し、地域活動計画に結びつくよう支援を強化します。各種事業の開催を通して、地域人材の掘り起こしを行います。			

平成21年度 教育行政評価 No18 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	まちづくり市民懇話会活動支援 (まちづくり市民センター活動費)	担当	部 名	市民協働部
			課 名	まちづくり市民センター

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ		
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(3)	生涯学習の充実と市民交流の推進
個別施策	①	学習と地域型コミュニティの形成

2 事業概要

目 的	市内には、まちづくりのさまざまな分野で積極的に活動を実践している市民や団体・グループがたくさんあり、市民懇話会は、そうした市民活動を直接的・間接的に支援していく活動を展開し、「中間支援組織」の役割を担う市民組織を目指します。			
対象及び規模	対象	市民	規模	65,911人

3 実績

<p>協働のまちづくりの市民組織として「まちづくり中央委員会＝まちづくり市民懇話会」が組織されて7年、さまざまな事業提案等を行い大きな成果を上げています。五つの専門部会議や市民大会等の活動は、各部門別に月1～2回ずつ行っています。民話・ものしりハンドブックの編集を行い大きな成果を上げています。</p> <p>第6回まちづくり市民大会は、「元気な鹿嶋っ子を育む市民活動を考える」をサブテーマに2月1日に開催し、分科会、まちづくり市民・団体表彰を行いました。</p>
--

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	市民懇話会の委員が様々な団体にかかわっており、負担が増えています。
改善策	協働のまちづくりをさらに大きく推進するためには市民懇話会自体の見直しが必要であり、現在、組織のあり方について検討しています。

平成21年度 教育行政評価 No19 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	協働のまちづくりアドバイザー派遣事業・ 協働のまちづくり事業補助金(市民参加のまちづくり事業)	担当	部 名	市民協働部
			課 名	まちづくり推進課

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ		
重点目標	4	スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(3)	生涯学習の充実と市民交流の推進
個別施策	②	生涯学習の機会の拡充と地域人材の活用

2 事業概要

目 的	新鹿嶋市総合計画を推進するための基本姿勢としている市民・事業者・行政による協働のまちづくりに取り組むため、生涯学習の成果を活かしたまちづくりへの市民参画や市民活動を支援・促進する各種施策を展開します。			
対象及び規模	対象	市民・団体・NPO法人等	規模	7団体(約400人)

3 実績

<p>「協働のまちづくり事業補助金」は、まちづくりボランティア事業5件、地域環境整備事業1件に補助を行いました。まちづくりボランティア事業の内訳は、清掃活動を中心とした環境保全活動が4件で、年間の総参加者数は、1,400名を超えました。もう1件は、北浦浄化の啓発活動に対する支援で、団体が主催する各種イベントに小学生親子を中心に300名を超える参加がありました。また、地域環境整備事業は、市内にある谷津田再生に取り組み、ホテルが舞う環境を取り戻す等、美観の向上及び環境保全に取り組みました。「協働のまちづくりアドバイザー派遣事業」は、1事業で約30名が参加し、運営方法などのアドバイスを受けました。</p>

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	<p>①多種多様な市民活動をまちづくりに反映させる制度の整備が必要です。</p> <p>②生活課題や地域課題を発見し、解決策を考える学習活動の推進が必要です。</p> <p>③市民と行政の信頼関係の構築が課題です。</p>
改善策	平成22年7月には、各分野における市民活動実践者から成る「明日の市民協働を考える委員会」を設置して、これまでの協働に関する施策の検証や今後の取り組みを検討しており、その結果を平成23年6月に提言書として取りまとめる予定です。さらに今後は「鹿嶋市協働のまちづくり推進大綱」に基づく制度設計を行い、まちづくりへより多くの市民参画が得られる施策を展開していきます。

平成21年度 教育行政評価 No20 (自己評価)

事務事業名 (予算事業名)	放課後子ども教室(青少年育成対策経費)	担当	部名 課名	市民協働部 生涯学習課
------------------	---------------------	----	----------	----------------

1 事業の位置づけ

鹿嶋市教育基本計画(後期)における位置づけ	
重点目標	4 スポーツ・芸術文化活動の振興と市民交流の推進
体系項目	(3) 生涯学習の充実と市民交流の推進
個別施策	(2) 生涯学習の機会の拡充と地域人材の活用

2 事業概要

目的	文部科学省と厚生労働省との連携による放課後子どもプランが平成19年度から開始され、生涯学習課は放課後子ども教室、こども福祉課は放課後児童クラブとして、放課後における子どもたちの安全安心な居場所をつくり、勉強やスポーツ・文化活動、地域の人たちとの交流事業等、さまざまな体験活動を通して、健康で心豊かな「鹿嶋っ子」を育成します。			
対象及び規模	対象	小学生	規模	3,847人

3 実績

	平成19年度から児童クラブを開設していない小学校区7ヶ所に子ども教室を開設しました。クラブ開設に伴い、平日の子ども教室は終了しています。一方、児童の安全・安心な居場所づくり、勉強やスポーツ・文化活動、地域の人たちとの交流事業等、さまざまな体験活動を提供するため、休日の子ども教室を開設しています。平日の子ども教室は、小学校1年生から3年生の全児童数のうち参加児童数の割合は平成20年度は66.6%、平成21年度は70.0%と増加しています。本事業に対する満足度・期待度は高まっています。
--	---

4 評価に基づく事業の課題・改善策

課題	平日の部は、現在、児童クラブの開設に伴い、休日の部へ移行しています。しかし、平日の児童たちの下校時の安全を考慮すると高学年との一斉下校が望ましいと考えます。このため、平日における子ども教室の検討が必要です。
改善策	各学校での平日子ども教室の実施については、保護者、各小学校、PTA、子ども会等の意見や放課後子どもプラン運営委員会での調査、研究を行い、鹿嶋市の実態に合わせた子ども教室の検討を行います。